

## 令和4年度 第1回 学校関係者評価委員会\_議事録

2022.08.24

### 出席者

古川 雅英 (新潟県菓子工業組合 事務局長)  
三島 茂 (新潟県司厨士協会 名誉会長)  
神子島 真 (株式会社神子島製作所 取締役製造部長)  
山岸 貴 (中央会計税理士法人 代表社員 所長)  
渡辺 建太 (株式会社 渡森 代表取締役社長)  
伊藤 佑二 (御料理 京相模)  
以上 6名

#### 【学校委員】

渡辺 忠雄 (理事長)  
渡辺 弘子 (学園長)  
出塚 彩 (校長)  
近藤 一弥 (教頭)

#### 【事務局】

渡辺 真理子  
堀 慶

#### ▶学園長挨拶

#### ▶令和3年度の活動報告

学生アンケートの結果を報告 授業・学生と2種類のアンケートを実施した。

#### ○授業は主に実習について聞いた。

・ 授業内容を理解できたか：できた・ほぼできたー95%

#### ○学校生活について

・ 学校生活全体について：満足・ほぼ満足ー90%

・ 目的意識をもって生活しているー43%

以上のことを踏まえての質疑応答

#### ▶令和4年度重点目標について

教育理念は学園長が開校当初から掲げるものから変わらない。

#### 2022年年度の重点目標

- ①「職業実践専門過程」の認定が専門士の称号を与えられる証
- ②学生の満足度は非常に上がっている。先生方もそのために日々努めている。  
生の声が学生の確保にもつながっている。

- ③優秀な人が社会に出てお店を出す若者が増えていっていると感じる
- ⑤各企業ごとに様々なSDGsの取り入れ方をしている中、学生たちには食の分野ならではの方法を提案しながら地域・社会貢献に努めて参りたい
- ⑥アフターコロナの時代において授業や研修でやり方を変えていかなければならないことを考えていきたい

▶学校評価

職員の自己評価

「情報システム化による業務の効率化」が特に顕著にポイントが上がっている  
情報共有をするためのクロームブック 自身が使いこなせていないと感じる職員もいた  
パソコンやクロームブックの研修を行い、苦手な職員にも馴染むように  
マネーセミナーも開き、お金の運用を学ぶことも開催した

教育活動 すごく良く上がっている

指導力向上のために練習の時間がある、  
TVモニターを設置しパソコンを使った授業をしたい、  
必要な人材の採用を希望する、といった意見もあった

防犯について、どうすれば学生が理解するか

警察署の方に防犯のお話をしてもらった

値上げにどう対処するのか

授業料は国に申請しているので簡単に変えられるものではない

以上のことを踏まえての質疑応答

「保護者と積極的に連携しているか」という質問の職員評価が下がっている  
あまりに良い生徒が増えたばかりに、保護者に来てもらう機会が少なくなっている  
そのことによって職員評価が下がっているのではと反省していたので、  
職員の信頼を得られるようにしたい

▶閉会の挨拶

子どもたちにしっかり教え、そして考えさせるということが指導だと思う  
委員の方々からいただいたお話を持ち帰り、学生のために生かしていきたいと思う